

Global Classrooms

グローバル・クラスルーム 報告書

第5回全日本高校模擬国連大会



2011年 11月

グローバル・クラスルーム日本委員会

Japan Committee for Global Classrooms

【後援】

文部科学省
外務省
経済産業省
国際連合大学
国際連合広報センター
財団法人日本国際連合協会

【協賛】



メリルリンチ日本証券株式会社
三菱商事株式会社
三菱UFJメリルリンチPB証券

【協力】

株式会社リクルート
理想科学工業株式会社

目次

目次 - 1 -

はじめに..... - 2 -

グローバル・クラスルーム..... - 3 -

日本模擬国連..... - 3 -

大会概要..... - 4 -

Letter from United Nations Foundation President Timothy E. Wirth - 7 -

担当国一覧..... - 12 -

決議..... - 16 -

企画報告..... - 32 -

参加者の声..... - 34 -

支援者・支援団体一覧..... - 35 -

会計報告..... - 37 -

グローバル・クラスルーム日本委員会 (2011年11月現在) - 38 -

おわりに..... - 40 -

関連リンク..... - 41 -



はじめに

この度、第五回全日本高校模擬国連大会の報告書を皆様にお届けできる運びとなりました。2011年11月12日・13日に開催した本大会は、多くの皆様に支えられ、盛会のうちに幕を閉じることができました。グローバル・クラスルーム日本委員会を代表して、参加者及びご支援、ご高配を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

グローバル・クラスルーム日本委員会は、国際社会に貢献できる人材をより早い時期から育成したいという理念を掲げ、日本における全国規模の模擬国連大会を開催しています。今年で5回目を迎える本大会は、全国各地より102名もの国際問題に関心のある意欲的な高校生に参加いただきました。大会終了後、「参加してよかった」「本当に楽しかった」「かけがえの無い時間となった」などの声が多数寄せられました。会議や基調講演を通じて、また大会中の様々な人との交流を通じて、参加者にとってこの大会が忘れられないものとなったならば、大会を企画運営してきた者の一人としてこれ以上の喜びはありません。

大会中、2日間という短い期間の本番に向けた皆さんの長い準備の跡が伺えました。授業や部活と両立する形で模擬国連に力を注ぎ、課題をこなし、国連大学に集まった皆さんに心より敬意を表します。提出いただいたエッセイや大会後のアンケートからは、皆さんのこの大会に賭ける熱意が強く伝わってきました。私自身は高校生の時に参加できなかったため、全国規模で唯一のこの高校模擬国連大会に参加できた皆さんを羨ましく思います。また、大会終了後も参加者が率先して同窓会などを開いて、交流している姿を拝見し、とても嬉しく思います。今後もそういった交流やつながりを大切にしてください。皆さんがこの大会で得た知識、経験、技術、交友関係などが今後の人生のエッセンスとなり、将来国際的な舞台で活躍する姿を見ることを、グローバル・クラスルーム日本委員会一同、心より楽しみにしています。

本報告書が、日本における模擬国連活動の更なる普及と発展の一助になることを願っております。今後ともグローバル・クラスルーム日本委員会の活動にご協力いただければ幸いです。

最後に改めまして、本大会にあたたかいご支援・ご協力をくださいましたすべての皆様に、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

グローバル・クラスルーム日本委員会
理事長 杉村 詠史

グローバル・クラスルーム

グローバル・クラスルームは、国連会議のシミュレーション(模擬国連)を通じて、現代の世界におけるさまざまな課題について学ぶための先進的な教育プログラムとして、公立中学校・高校を対象に、米国国連協会の提唱により始まりました。模擬国連に参加する学生は、国連加盟国の大使として、国際問題を討議し、決議案を作成し、賛成者・反対者と交渉し、国連の事務規則を駆使して、世界が直面する課題の解決に向けて、「国際協力」を実現していきます。

米国国連協会は、このグローバル・クラスルームを米国諸都市のみならず世界各地に普及させることで、国際理解教育と模擬国連の良さを多くの国の学校と共有するとともに、模擬国連コミュニティの裾野を広げようとしています。

グローバル・クラスルームは、既に中国、インド、ドイツ、レバノン等で始まっています。日本でも、大学生の模擬国連は20年以上の歴史があり、毎年全日本模擬国連大会が開催されています。そして2007年、かねてより若年層に対して国際問題を討議する際に欠かすことができない経済や国際金融の知識の普及活動をグローバルに行ってきたメリルリンチ社をスポンサーに迎えグローバル・クラスルーム日本委員会が組織され、同年の第一回日本代表団の国際大会への派遣を皮切りに高校生の模擬国連活動が始まりました。

日本模擬国連

日本模擬国連(Japan Model United Nations Society: JMUNS)は、日本で初めて組織化された模擬国連活動を行う団体です。1983年上智大学において、当時上智大学教授であった緒方貞子(前国連難民高等弁務官)の顧問の下、発足した「模擬国連実行委員会」を前身としています。当初は毎年ニューヨークで開催されている「模擬国連会議全米大会」への日本代表団の派遣を中心に活動を行っていましたが、委員会の規模の拡大に伴い、日本国内における模擬国連の活動を本格化させ、2010年、名称を現在の「日本模擬国連」に改名しました。

日本模擬国連の目的は、「模擬国連」という活動を通じて、さまざまな国際問題についての理解を深めると共に、それらの問題の解決策を探り、国際社会に貢献できる人材を育成・輩出することです。また、国際政治や国際問題を体験的に学習する効果的な方法として「模擬国連」を日本において普及させる役割も担っています。

大会概要

【大会名称】

第五回全日本高校模擬国連大会(英語名 : Global Classrooms in Japan 2011)

【主催】

グローバル・クラスルーム日本委員会/日本模擬国連

【後援】

文部科学省、外務省、経済産業省、国際連合大学、国際連合広報センター、
財団法人日本国際連合協会

【協賛】

メリルリンチ日本証券、三菱商事株式会社、三菱 UFJ メリルリンチ PB 証券

【協力】

株式会社リクルート、理想科学工業株式会社

【開催期間】

2011年11月12日(土)・13日(日)

【募集期間】

2011年7月1日(金)～9月16日(金)

【設定会議】

第66回 国際連合総会経済・財政委員会(通称第二委員会)

エネルギー安全保障

Energy Security

【使用言語】

(公式/非公式/文書) 英/日/英

【会場】

国際連合大学(5階 エリザベス・ローズ会議場)

150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70

【定員】

100名程度

【参加費】

無料(遠方からの大会参加生徒には交通費・宿泊費を補助)

【優秀者特典】

米国国連協会主催の2012年度高校模擬国連国際大会への日本代表団としての参加資格
(航空費・宿泊費全額支給)

【大会日程】

| | 2011年11月12日(土) | 2011年11月13日(日) |
|-----------|--|-------------------------|
| 9:30a.m. | 受付(受付開始 9:30 a.m.～) | 受付(受付開始 9:30 a.m.～) |
| 10:00a.m. | 開会式 | 3 rd Meeting |
| 10:40a.m. | 基調講演 | |
| 11:20a.m. | 模擬国連の説明 | |
| 11:30a.m. | 1 st Meeting | |
| 12:00p.m. | | ※12:30p.m.修正案提出締め切り |
| 12:30p.m. | 昼食 | 昼食 |
| 1:00p.m. | | |
| 1:30p.m. | 2 nd Meeting ※4:30 p.m.決議案提出締め切り | 4 th Meeting |
| 2:00p.m. | | |
| 2:30p.m. | | |
| 3:00p.m. | | 会議終了 3:30 p.m. |
| 3:30p.m. | | Review |
| 4:00p.m. | | 閉会式 |
| 4:30p.m. | | |
| 5:00p.m. | | |

UNITED NATIONS  NATIONS UNIES
THE SECRETARY-GENERAL

MESSAGE TO THE GLOBAL CLASSROOMS
MODEL UNITED NATIONS CONFERENCE
Tokyo, 12 - 13 November 2011

You meet at a time of great change and challenge. Our world faces an increasingly complex set of realities, from rising joblessness to growing inequality to the increasing dangers of climate change. Many people are disillusioned with the established order; there is distrust in institutions; and a general sense that the playing field, be it national or global, is tilted in favour of entrenched interests and elites.

We need to forge a common agenda that can help ensure that future generations grow up in a world of sustainable peace, prosperity, freedom and justice. To help build this future, I believe the world must focus on five imperatives: first, sustainable development; second, conflict prevention; third, standing up for democracy and human rights; fourth, supporting countries in transition; and fifth, working with and for women and young people.

You have a crucial role to play. The world's young people are more than our future. You are also our present, both in numbers and how you are using technology and creativity to drive political and social change. You will soon be the government officials who will negotiate peace... the community leaders who will help feed and shelter the vulnerable ... the entrepreneurs and innovators who will get carbon emissions under control ... the lawyers and human rights defenders who will fight impunity and teach tolerance. We must work together to create decent jobs and opportunities for you – so you can realize this great potential.

This Model United Nations can contribute to our push for progress. By participating, you will hone your negotiating skills and learn what it takes to achieve consensus. Armed with these assets, you can mobilize, engage and act on major issues of our day. From raising awareness through Facebook and Twitter to joining forces in other ways with like-minded students from around the world, you can make your voices heard.

This is an era of great uncertainty, but also one of profound opportunity for individuals to make a difference. The human family now has seven billion members. Please help us shape our shared future for the better, and help the United Nations deliver what the world needs at this crucial moment. I wish you great success at this Model UN, and I hope the experience will inspire you to support our work for peace, justice, human rights and sustainable development for years to come.

Letter from United Nations Foundation President Timothy E. Wirth

 **UNITED NATIONS
FOUNDATION**

Dear *Global Classrooms*: Tokyo Model UN Conference delegates:
Welcome to the 2011 *Global Classrooms*[®] Tokyo Model UN Conference. *Global Classrooms* provides you -- the next generation of leaders -- with the opportunity to learn about the workings of the one international organization with the reach and vision capable of solving global problems -- the United Nations.

I am pleased to see the next generation of global citizens coming together at Model UN Conferences in 24 major cities across the U.S. and around the world to address the world's toughest challenges. Recently, the United Nations Foundation and the United Nations Association of the United States of America formed a strategic alliance creating the single largest network of American supporters of the UN. I encourage you, as Model UN Conference delegates, to continue this momentum of support for the UN. Together, we can help the UN create a better world.

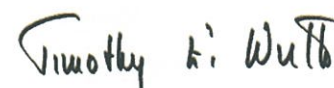
During this conference you will hone the skills you have learned through the *Global Classrooms* program, such as research, resolution writing, caucusing and public speaking. You will be guided in these efforts by a dedicated group of staff members who will assist you throughout your work in committee sessions.

I commend you for your hard work this year, and congratulate your teachers for developing successful Model UN programs in your schools and solidifying Model UN's impact in Tokyo.

Finally, thank you to the individuals and groups whose support has made this Model UN conference possible.

With best wishes,

Sincerely yours,



Timothy E. Wirth

President, United Nations Foundation

会議報告

【議題設定】

今年の全日本大会では「エネルギー安全保障」を選択しました。

エネルギーは、私たちの生活の隅々にまで影響を及ぼす身近な存在です。「電力」、「ガソリン」などの言葉に置き換えれば、さらにその身近さを実感することが出来るでしょう。したがってこの「エネルギー」にかかわる問題は、影響を受ける人が比類なく多い国際問題の一つということになります。そのため常に人々の注目を集めますが、その全体像を理解する機会はあまりないのではないのでしょうか。

本大会は高校生にとってその格好の機会となるものと考えています。

また、エネルギーは、国際社会のパワーバランスや国際政治の力学を見るのに最適なもののさしの一つとすることができます。産油国と新興国のエネルギー政策とその影響力を見れば、かつてのように米欧日を見ていれば国際社会を見通せた時代はすでに過ぎ去ったことが理解できます。国際社会の中では産油国や新興国があらゆる手段を使って、欧米諸国が持っている既得権益を奪おうとする場面が見られます。そこにおける手段の一つがエネルギーなのであり、それがゆえにエネルギーの問題は単なる経済の問題としてではなく安全保障の問題とも関連付けて議論されるのです。

19世紀は「石炭の時代」、20世紀は「石油の時代」と言われてきました。21世紀に入った現在、なおもエネルギー利用における石油の果たす役割は大きい一方で、天然ガス・原子力・再生可能エネルギーなどの技術も代替手段としての十分な可能性を有しています。参加者のみなさまには「21世紀のエネルギー利用の理想的な形」を議論していただきたいと考えています。

模擬国連会議では参加者に「国際会議に参加する政府の代表」である外交官となってもらいます。外交官たちの議論には、唯一絶対的な正解などは決して存在しません。模擬国連においてもそれは同じです、皆さんには本大会の始まりから終わりまで、「正解のない問いに挑む」という気概をもって会議に臨んでいただき、外交の醍醐味を体感していただきたいと思います。

【会議経過】

<会議初日>

会議開始冒頭では、スピーチを多めに回しました。その後、主に自由に立ち歩いて交渉の出来る Unmoderated Caucus において、グループごとに分かれて決議のたたき台となる決議案(DR)の作成が行われました。結果として、5つの DR が提出されました。

DR 提出後は、議長提案による Moderated Caucus において、各グループの代表者が、①各グループの構成員、②DR の内容などを全ての国に共有しました。

<会議二日目>

修正案(アmendメント)作成の交渉の結果、5本のアmendメントが提出されました。その後、議長提案による Moderated Caucus において、提出された DR やコンバイン案に対するコメントや質問を各グループが行っていききました。

スピーチを多く回した後、投票行動に入りました。5本のアmendメントが投票にかけられ、すべての文書が賛成多数で可決されました。

【決議要旨】

今回の会議では1日目の終わりに5つの決議案が提出され、2日目それぞれの決議案に修正が加えられたものが投票にかけられ、結果すべて決議として採択されました。決議の内容に目立った対立はなく、それぞれ性格の異なる決議が採択されました。以下に各決議の特徴と実際の文書を掲載しています：

決議1

化石エネルギー及び再生可能エネルギーに関する技術の開発・共有・向上のための新機関として、リサーチファシリティー設立を訴えた決議。

決議2

エネルギー安全保障全般について、各国が自国の利益を考えるだけでなく、より大きな視座から、国際益を意識し行動するよう呼びかけた決議。

決議3

エネルギー供給の技術面・経済面での協力について、地球温暖化対策で利用されている CDM を参考に新たな枠組みの創設を訴えた決議。エネルギーを対象とした投機の制限についても言及した決議。

決議4

エネルギー価格安定のために、既存の機関の統合・協力を通じエネルギーに関する情報の透明性確保を呼びかけた決議。また、エネルギーの供給・消費に関わる法的拘束力を持った枠組みについて吟味。

決議5

原油価格安定のための新機関創設を呼びかけ、またアフリカ諸国に重点を置いて石油産業に関わる技術、資金、人の支援の必要性を訴えた決議。

【会議総括】

参加者のほとんどは、自国の政策に関して適切な理解をしていた印象を受けました。

ある程度想定はしていましたが、やはり再生可能エネルギーに関連した提案を行っていた国が多かったです。そのような状況では、ただ単に再生可能エネルギーを推進する提案を行っても「他の参加者と同じ意見を言っている」状態になり、グループの中で埋もれてしまいます。議場全体から見れば、その参加者はいないと大差ありません。

そのような状況を避ける方法は、大きく二つ考えられます。一つは、再生可能エネルギーに関連して他の参加者と差別化できる水準の提案を行うこと。もう一つは、再生可能エネルギーとは異なる論点での提案を行うことです。これらの点を満たしていた参加者は、議論を動かしていく立場を担っていたと見受けられました。

また、決議の文言に具体的に実行できる政策があまり多く書かれていなかったことが気になりました。「石油依存から再生可能エネルギーへの移行」といった理念や方向性として全員が賛成出来る文言を並べるだけでは、やるかやらないかの意思決定を行える国際会議に参加している意味がありません。ある政策をやるかやらないかという具体的な論点は、メリット・デメリットを洗い出し、それらを検証していくという決まりきった過程を踏むので、議論の焦点がぶれにくく結論も出ます。そのような提案がもっと多くあれば、議論をよりに活発に行うことが出来たと考えます。



グローバル・クラスルーム日本委員会 研究
第五回全日本高校模擬国連大会 会議監督
高橋 淳志

【優秀賞】

優秀賞は、今回全日本大会の様々な局面において優秀な功績を残した大使へ贈られる賞です。

最優秀大使賞

Georgia 大使 慶應義塾湘南藤沢高等部（神奈川）

優秀賞(五十音順)

Australia 大使 実践女子学園高等学校（東京）

Bangladesh 大使 渋谷教育学園幕張高等学校（千葉）

India 大使 聖心女子学園高等科（東京）

United Arab Emirates 大使 栄光学園高等学校（神奈川）

ベストポジションペーパー賞

Libya 大使 開成高等学校（東京）

【会議監督特別賞】

この賞は今大会より導入したもので、その会議行動に光るものが見られ、今後の成長を期待させる大使に贈られる賞です。

Turkey 大使 渋谷教育学園幕張高等学校（千葉）

Chad 大使 東京学芸大学附属国際中等教育学校（東京）

Russian Federation 大使 県立日高高等学校（和歌山）



決議

MODEL UNITED NATIONS

MA/C.2/66/Res.1



General Assembly

Distr.: Limited

12-13 November 2011

Original: English

Sixty-sixth session

Agenda item: Energy Security

Sponsor: Armenia, Bangladesh, Brazil, Germany, Kazakhstan, South Africa, Spain and Switzerland

The General Assembly,

【決議骨子】

- ◇ 特に先進国に対して、エネルギーの多様化を推奨(主文 1)
- ◇ 再生可能な代替エネルギーを推進させる国連システム内の活動に注目し、推奨(主文 4)
- ◇ 国連の監督の下、化石燃料及び再生可能エネルギーに関する技術の開発・共有のための研究機関を創設することを要求(主文 5, 6)

Reaffirming that the two key issues of this Assembly are:

- a) To establish reasonable costs for energy resources,
- b) To establish an effective infrastructure for energy supply;

Recalling its resolutions 62/197 of 2008, 64/206 of 2010, and 65/151, 66/145 of 2011,

Emphasizing the global need to gradually diversify energy sources from fossil fuels to more sustainable energy sources due to their rising costs, limited supplies, and uneven distribution,

Conscious of the need to continuously use fossil fuels in transition to the diversification of the energy mix,

Noting that more than 20% of the global population lack access to electricity and that many more are unable to pay for modern energy services even when those services are available,

Desiring to ensure everyone in the world the access to energy, which is essential for the achievement of internationally agreed development goals, such as the Millennium Development Goals,

Affirming that short and middle term strategies to ensure energy security must also be discussed as well as long term strategies,

Aware of the high dependence of many countries on a single energy source, and its high risks and catastrophic potential impact,

Viewing its appreciation to the political impetus recently given to the development of renewable and alternative sources of energy worldwide, including in particular in developing states and in states with economies in transition,

Emphasizing that the development of renewable and alternative sources of energy plays a significant role in energy diversification, thereby:

- a) Reducing risks and assuring a more competitive market in energy, thus establishing reasonable costs,
- b) Supporting and accelerating economic growth and social development,
- c) Ensuring energy access and availability,
- d) Contributing to achieving sustainable development and the Millennium Development Goals,

Recognizing the International Renewable Energy Agency (IRENA), the International Gas Union (IGU), and the Global Bioenergy Partnership (GBEP),

Bearing in mind that while electricity can be produced through renewable energy, the continued use of fossil fuels is unavoidable for high-performance technology, and that global demand for energy will continue to rise,

Affirming that the steady supply and distribution of oil is a matter of great importance for all states, including developing states,

Believing that the definition of reasonable oil prices is the cost of oil in a perfectly competitive market,

1. *Encourages* energy diversification, especially for developed states;

2. *Also encourages* governments to promote, use, and invest in renewable sources of energy, such as the endorsement of bio-ethanol gasoline for vehicles;

3. *Calls upon* the international community to take actions to support the developing countries with financial resources and technology transfer;

4. *Notes and encourages* the ongoing activities related to the promotion of renewable and alternative energy within the United Nations system;

5. *Requests the establishment of a research project under the supervision of the UN;*

6. *Affirms* that the objectives of the research project mentioned in the main clause 6 are as follows

- a) To support all states and regions, including poor states with limited technological development in order that they be able to secure necessary technology for oil, natural gas, renewable energy, and alternative energy manufactory;
- b) To allow states to develop the technology best suited to their own states;
- c) To prevent unnecessary waste of technological development efforts such as the establishment of identical technological development projects in different states;
- d) To share technology developed in each state with all other states;

7. *Also affirms* that this research project's methods are guided by the following principles;

- a) Cooperation with JODI, IRENA, IGU, and GBEP in the acquirement of data, information and analyses on oil, natural gas, and renewable energy;
- b) Selection of the most suitable technology for each state and region based on existing data of their potential, and request that they follow this research project's suggestions;
- c) Collection of the developed technology at this research project and the sharing of it with all states;
- d) Sharing of the latest technological data, information, and analyses to JODI, IRENA, IGU, and GBEP;

e) Receiving financial assistance through voluntary contributions from UN states;

8. *Reaffirms* that the merits of this facility for developing states are

- a) Securing of technology needed to make the transaction from oil to natural gas, renewable energy, and alternative energy;
- b) Development of the technology best suited for their states;
- c) Transition to more active and sustainable development in technology;

9. *Also reaffirms* that the merits of this facility for developed states are:

- a) Develop the technology best suited for their states;
- b) Attainment of technology from other developed and developing nations;
- c) The provision of new markets and work forces in developing states;
- d) The provision of opportunities to achieve overseas development goals;

10. *Also reaffirms* that the merits of this facility for oil-rich states are:

- a) Attainment of oil refinery technology of a higher quality, which will lead to the delay of oil exhaustion and oil price stability;
- b) Securing of the technology needed to make the transaction from oil to natural gas, renewable energy, and alternative energy.



General Assembly

Distr.: Limited

12-13 November 2011

Original: English

Sixty-sixth session

Agenda item: Energy Security

Sponsor: Indonesia, Iraq, Malaysia, Mexico, Thailand, Russian Federation, United States of America, Venezuela and Vietnam

The General Assembly,

【決議骨子】

- ◇ エネルギー安全保障は全ての国を巻き込む問題であることを認識するように国連加盟国に強く要求(主文 1)
- ◇ エネルギーへのアクセスを達成することとエネルギー安全保障を確保することは深く関連していることを強調(主文 4)

Bearing in mind that the issue of energy security does not have a clear definition,

Concerned with the lack of sustainability of the current perception of energy security,

Alarmed by the number of those living in energy poverty,

Deploring the fact that those living in energy poverty are excluded from the discussion of energy security and are given no place to do so,

Noting with deep concern that countries can only secure energy through their financial status,

Noting that there is a limit to the total amount of oil available,

Affirming the importance of oil, which is necessary for us to sustain and develop our civilization,

Recognizing natural gas as a highly potential alternative resource for oil,

Noting the developing technologies for sustainable use of fossil fuels,

1. *Urges* member states to consider energy security from a completely new perspective, which is to perceive energy security as a problem that involves every nation around the world;
2. *Emphasizes* the fact that energy security is currently treated as an issue of obtaining immediate national interest;
3. *Calls upon* member states to acknowledge the importance of distributing energy fairly;
4. *Emphasizes* that attaining energy access and ensuring energy security are deeply related;
5. *Invites* member states to give more attention to those without access to any form of energy;
6. *Urges* member states to therefore pursue sustainable energy security rather than trying to gain immediate profit;
7. *Encourages* member states to create equal opportunities within the United Nations for discussions involving energy for every nation;
8. *Calls upon* member states to refrain from using oil for purposes that can be replaced with other energy resources;
9. *Affirms* that oil must be replaced with an alternative form of energy not only in the short term, but in the long term as well using diversified resources such as natural gas, coal and renewable energy and,
10. *Considers* energy efficiency a vital factor when using fossil fuels,
11. *Notes* the importance of cooperation between member states on things that has to be done regionally, such as the construction of pipelines, which would consequently lead to international cooperation.



General Assembly

Distr.: Limited

12-13 November 2011

Original: English

Sixty-sixth session

Agenda item: Energy Security

Sponsor: Algeria, Australia, Canada, Georgia, Libya, Norway, Qatar, Serbia, Sweden, Turkey and Turkmenistan

The General Assembly,

【決議骨子】

- ◇ 発展途上国に投資し、エネルギー生産における支援を先進国に求める(主文 4)
- ◇ エネルギー供給における再生可能エネルギーの割合の目標を各国が設定し、再生可能エネルギーに関する技術を移転することにより自国の目標の数値に上乗せできるシステムを創設することを要求(主文 9)
- ◇ 化石燃料の価格の高騰を抑えるために、IMF(国際通機関)に対してエネルギー市場を監視することを要求(主文 12)

Convinced that in a short term goal, developing countries need to improve their energy security,

Realizing that some states lack technology or funds to develop renewable energy,

Noting with great concern the need for states with advanced renewable energy technology to implement their technologies in developing states, including fossil fuel exporters,

Also noting that energy security is imperative for the development of all nations,

Alarmed by the fact that around 3 billion people in the world do not have access to necessary energy, which is undermining efforts to achieve the Millennium Development Goals (MDG),

Affirming that extensive network of fossil fuel pipelines, which will be created in a mid-term

span, would reduce the risk of natural gas shortages, and also reduce the cost of trading,

Emphasizing the need to meet the rapid increase in domestic energy demand within rising states, including fossil fuel exporters,

Recognizing that pipelines are the basic and effective mode of transporting oil and natural gas,

Noting with regret that violent fluctuation of energy prices, in which the gas prices are closely correlated with oil prices, is one of the causes for the international turmoil for energy,

Emphasizing that unstable oil prices have a negative impact on a state's economy and development,

Affirming that the proliferation of pipelines are effective in mitigating the impact of energy prices and diversifying energy sources,

Taking into account that world energy demand will continue to increase significantly in a long term perspective,

Reaffirming that natural gas can be a reliable and affordable energy source, a criteria which is required for economic stability and development,

Noting that natural gas emits less CO₂ than oil or coal, and is more accessible compared to oil,

Affirming that the technological advancements made in the field of renewable energy can contribute to diversification of energy sources and help all member states to reduce their dependence on a unilateral energy source,

Declaring its aspirations for a future where global energy supplies are accessible, affordable, and equitable,

1. *Emphasizes* that dependence on fossil fuels will continue and the transition to renewable energy will be implemented gradually;

-
2. *Urges* all the countries to ensure the routes of energy supply to emerging nations.
 3. *Emphasizes* the need to improve the availability of energy around the world, especially for the 2.7 billion people who do not have access to beneficial energy for their cooking, lighting, and basic domestic appliance needs;
 4. *Invites* developed nations to invest in developing countries and potentially aid these states in energy production by
 - (a) Aiding in the development, planning, implementation and construction of energy related infrastructure, including pipelines;
 - (b) Guiding developing nations in effectively integrating energy into national development strategies;
 - (c) Helping to organize and improve modes of energy distribution;
 - (d) Providing both renewable energy technology, mining technology, and the necessary funds to implement these in developing countries;
 5. *Emphasizes* the importance of international cooperation in bringing Liquefied Natural Gas and shale gas into easier access, at a stable price;
 6. *Recommends* states to cooperate both in technological and economical ways to make renewable energy a realistic energy option;
 7. *Emphasizes* the importance of building and increasing the capacity of fossil fuel pipelines connecting developed states and developing states;
 8. *Supports* the introduction of worldwide Smart Grid to stabilize the energy supply;
 9. *Requests* the establishment of the following system in order to deal with the predicted rise in global use of energy:
 - (a) All states to set a numerical target indicating the percentage of renewable energy in a state's energy supply;
 - (b) States with advanced renewable energy technology to assist states that require it;
 - (c) 70% of the energy generated from this assistance to be credited to the assisting state, to aid them to reach their aforementioned target;
 - (d) Recommends IRENA to advise nations to assert to this system;
 10. *Calls upon* every member state to maintain oil stock levels, so that in case the

price of oil rises sharply, states can release the stocked oil to stabilize the price;

11. *Reaffirms* the fact that the status quo requires finding new reserves of oil and gas, increasing the production of oil and gas, maintaining a stable level of availability of oil and gas, and improving the technology related to these;
12. *Calls upon* the International Monetary Fund (IMF) to keep watch on the energy market so that extreme financial market speculation of fossil fuels is prevented;
13. *Calls upon* states to strive for a more stable supply of fossil fuels, through long-term oil and gas contracts with multiple states, confirming that relying on a single state for the supply of energy is not desirable for energy security.



General Assembly

Distr.: Limited

12-13 November 2011

Original: English

Sixty-sixth session

Agenda item: Energy Security

Sponsor: Azerbaijan, Belarus, Colombia, France, India, Israel, Iran, Oman, Saudi Arabia, Ukraine, and United Arab Emirates

The General Assembly,

【決議骨子】

- JODI(Joint Organizations Data Initiative)への理解を促進するために、国連加盟国に IEF(国際エネルギーフォーラム)への参加を要求(主文 5)
- エネルギー価格の安定のために、信頼の出来るエネルギー市場の情報を共有することの必要性を強調(主文 6)
- エネルギー供給国、エネルギー消費国、関連地域機関の対話のさらなる促進を要求(主文 12)

Recalling its resolutions 58/210 of 23 December 2003, 60/199 of 22 December 2005, 62/197 of 22 February and 64/206 of 11 March 2010 on the promotion of new and renewable sources of energy,

Reaffirming the charter of the United Nations, and particularly the non-interventionism,

Considering the importance of considering the position of the countries with natural resources,

Recognizing the importance of the role of IRENA in order to promote the renewable energy,

Affirming the importance of the cooperation between energy consuming countries and energy producing countries, given the interdependence between them,

Viewing its appreciation of International Energy Forum, which strengthens the consumer-producer dialogue,

Noting that oil prices should be at the levels that are acceptable to producers and consumers to ensure global economic growth, particularly in developing countries,

Recognized that more timely, complete and wide energy data on consumption, production, trade and stocks help to increase transparency in the energy market and decrease room for speculation by dampening energy price volatility,

Recognizing that the development of new and renewable sources of energy plays a significant role in the diversification of the energy mix, which will contribute to security of energy circumstances,

Noting with appreciation the establishment of the International Renewable Energy Agency, which aims at promoting the diffusion and sustainable use of all forms of renewable energy,

Affirming that using the existing energy institutes, such as International Energy Agency, Organization of the Petroleum Exporting Countries and International Renewable Energy Agency, and existing forums, such as International Energy Forum is the most effective way to achieve energy security,

Recognizing also the ICSID,

Regretting steep rise in oil prices, in spite of the recent situation, which oil demand surpasses oil supply, even though it is predictable that this trend will continue,

Regretting the number of investors speculating in oil increasing due to liberalization in oil market and the oil prices fluctuating because of rumor,

Keeping in mind that for countries with weak economic foundation, especially developing countries, the international rise in energy prices is critical,

Keeping in mind in order to stabilize oil prices, socially stabilizing oil producing countries, which are developing nations,

Deploring that there are several nations, which has abundant deposit resources,

but could not correct it, because of financial, technical or human limitation,

Regretting that the inefficiency of the facilities for developing or conjugating deposit resources is the cause which makes world energy supply unstable,

Emphasizing that the duty to maintain the facilities, lies not only to the nations where it is located, but to the international society,

Reaffirming the Millennium Development Goals, which points out the importance of sustainable development,

Recognizing the importance of sustainable use of natural resources on field of energy,

1. *Encourages* to international society to place the responsibility of the countries which participate in the energy chain (supplier, consumer, and transit countries) legally;

2. *Recognizes* that sustainable and definite promise of demand based on long term contraction, will promote the investment towards development or infrastructure maintenance, and leads to sustainable supply of energy;

3. *Emphasizes* the importance of promoting the development of renewable energy;

4. *Encourages* the further activities of IRENA for promotion of the renewable energy;

5. *Encourages* JODI to add other data from organization such as IGU and IRENA;

6. *Emphasizes* the need of sharing transparent and reliable energy market data to assist in minimizing volatility in energy markets;

7. *Encourages* all Member States that have not become members of the IEF to join the IEF in order to promote better understanding of the JODI;

8. *Endorses* the steady improvement of the JODI that addresses investor uncertainly, contributes towards global energy data, and strengthen producer and

consumer dialogue by demonstrating concrete action;

9. *Welcomes* the international corporation of the energy supplying countries which tries to realize the adjustment of energy resources production, the stabilization of price, efficiency and financial energy supply;

10. *Encourages* the concerned country and the already done activity done by the organizations to continue the activity of main clause paragraph 9;

11. *Encourages* all states to develop energy supply routes;

12. *Demands* the further promotion of conversation between the organization of energy supplier or consumer countries, relevant regional organizations and beyond both of them;

13. *Encourages* the energy supply countries and OECD countries to put endeavor to ensure the fair price for the countries which is dependent on import of energy;

14. *Encourages* the concerned nation to continue the activity such as adjustment of the production;

15. *Urges* to support countries, especially developing countries, following the main clause paragraph 15 and 16;

16. *Welcomes* JODI program in IEF as an effective measure to raise accuracy of predicting oil supply and demand;

17. *Affirms* the need to promote the technical and financial aid to developing countries in order to promote the sustainable use of natural resources;

18. *Encourages* actively to the countries which has useful technologies for further development or mining deposit resources to open to developing;

19. *Urges* financial, technical, industrial and human aid of the countries that is the member states of OECD, for maintaining the facilities to make use of natural resources, to train people for energy developments, and to ensure the stable energy supply;

20. *Requests* further debate continued in future.



General Assembly

Distr.: Limited

12-13 November 2011

Original: English

Sixty-sixth session

Agenda item: Energy Security

Sponsor: Angola, China, Chad, Egypt, Gabon, Italy, Japan, Netherland, Nigeria, Republic of Korea, and Sudan

The General Assembly,

【決議骨子】

- ◇ 過剰な投機と産油国の石油市場への介入が石油価格の不安定化を招いていることを非難(主文 2)
- ◇ 適切な石油価格を維持するための機関を国連総会の下に創設することを要求(主文 3)
- ◇ 産油国に経済的・技術的・人的支援をすることを先進国に求める(主文 8)

Recalling the principles of the Millennium Development Goals, especially focusing on Goal 8 entitled “Develop a global partnership for development”,

Emphasizing the importance of maintaining appropriate oil price as a whole in order to achieve the globally agreed goal that the international society has to solve considering the enormous influence to the world if the problem were left unsolved,

Bearing in mind the sufficiency of oil as a crucial issue on energy security for all member states considering the technology for renewable energy which has not yet reached the level of practical use,

Affirming the worldly increasing demand of energy resources with the economic growth of emerging nations,

Reaffirming the importance of the diversity of both energy producing resources and source of energy supply around the world,

Recognizing that access to modern affordable energy services in developing countries is essential for the achievement of the development goals, which would help to reduce poverty and to improve the conditions and standard of living for the majority of the world’s population,

Emphasizing that solving the oil problems can stabilize finance of oil producing countries and solve the problems of poverty and population, and by that, we can lead to the worldwide benefit,

1. *Requests* the global cooperation on the maintenance of appropriate oil prices;
2. *Condemns* the instability of oil price, due to the interference with the oil market by the governments of oil producing states and excess speculation in the oil market by certain countries;
3. *Calls upon* creating a new organization under the 2nd committee of the general assembly against a backdrop of the shared awareness on the necessary of planetary cooperation for the common, global-scale issue that renovates the established order and that tackles a new oil supply system and maintains appropriate oil price;
4. *Demands* the organization mentioned in the item 2 to allow every country to participate in the discussion with equal opportunity to reform the existing oil bills in the oil-producing states, which would help to solve the current problems in oil-producing states;
5. *Emphasizes* the importance of providing unexplored areas with technical assistance concerning oil identification as part of the activities of the organization mentioned before;
6. *Calls upon* building up the information about the renewable energy as part of the activities of the organization for the transfer gradually from fossil fuel to renewable energy in the future;
7. *Calls upon* collecting data about fossil fuel, making use of data in JODI to prevent the excessive speculative behavior as one of the activities of the organization mentioned before;
8. *Requests* developed countries to provide oil producing states with financial and technological support and development of human resources;
9. *Requests* oil producing countries above to secure the stability of oil price and oil supply in return for the support mentioned in the item 7;
10. *Calls upon* all oil-producing countries to cooperate for the worldwide benefit of development.

企画報告

【基調講演】

講師

外務省経済局経済安全保障課長
大隅 洋 様

講師

武田薬品工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部シニアマネジャー
金田 晃一 様

外務省の大隅洋様からは「21世紀、どのように必要なエネルギーを確保していくのか？」というテーマのもと、各国のエネルギー利用の実態やエネルギーアクセスにつきお話いただき、21世紀の理想的なエネルギー利用の形についての問題提起をしていただきました。また、ご自身の経験を基に国際会議における交渉術についてもお話いただきました。

続いて、武田薬品工業の金田晃一様から「地球規模の課題としての『自然火災』—災害支援における企業セクターの“挑戦”—」というテーマで、エネルギーの安全利用に大きく関わる問題としての自然災害、とりわけ東日本大震災後の復興を例に挙げながら「企業市民」としての取り組みについてお話頂き、参加者に対し企業からという新たな視点を提示していただきました。



【学校関係者向け説明会】

高等学校における模擬国連の普及活動の一環として、2日間に渡り計5回の学校関係者説明会を行い、多くの引率教員の方々にご参加いただきました。OBOGの経験談やグローバル・クラスルームの活動紹介はもちろん、教員方同士の交流、情報交換の場としてもご利用いただきました。

<11月12日(土)>

- (1) 12:00~ 模擬国連とは？グローバル・クラスルーム日本委員会(JCGC)の取り組み
模擬国連活動についての簡単なご紹介、ならびにグローバル・クラスルームの取り組みについてのご紹介をしました。
- (2) 14:30~ 高校での取り組み紹介、引率教員交流
学校独自で模擬国連活動を行っている高校として、浦和第一女子高等学校、桐蔭中等教育学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、公文国際学園高等部の教員の方々による導入方法や活動内容をご説明いただき、質疑応答を含めた教員の方々同士の交流の情報交換が行われました。
- (3) 16:15~ 1日目会議解説
議題に関して、1日目の会議で各グループによって話された論点とそれに対する主張、ならびに会議の進行についての説明を行いました。

<11月13日(日)>

- (4) 11:30~ 国際大会 OBOG 体験談
過去の全日本大会で優秀な成績を収め、アメリカ・ニューヨークで行われる国際大会に参加したOBOGより、体験談を話してもらいました。後半には質疑応答も行われました。
- (5) 13:30~ 2日目会議解説
2日目の会議において主に話し合われた内容、また提出された決議案の内容とその修正案についての解説を行いました。

これら説明会が、高校模擬国連の裾野の広がりに少しでも貢献できたことを願っております。教員の方々からいただいたご意見は来年以降の本プログラムならびにグローバル・クラスルームの活動の改善に役立てて参ります。

参加者の声

本大会を通して得たもの感じたことを参加者の皆様にお伺いいたしました。
(アンケートへのご回答より一部抜粋)。

【参加者より】

- ・有意義に大会を過ごすことができました。
- ・スタッフの対応、接し方はものすごく親切で好感を持ちました。
- ・「国連組織とは」等、国連に関する講習を事前にやったらうまくすすむのではないかと思った。
- ・2分間スピーチをもっと計画的にやるべき。ほぼすべての国が国という立場から離れてしまっていたと思う。特に国交に関して話し合いがなかった。
- ・昨年より英語が少なく、またややゆるくなっているように思えました。

【引率教員より】

- ・想像していた以上に各国大使が高いレベルの議論をしていた。
- ・OBOGの体験談が非常に面白かった。大会の教育的価値の高さがうかがい知れました。
- ・会議説明が有効でした。
- ・事前の連絡が遅く、学校は上の許可を受けないと動けないのもっと早くしてほしい。
- ・写真、ビデオなどの撮影は、個人情報の管理が必要。



支援者・支援団体一覧

本大会の実施にあたり多くの方々から温かいご支援を賜りました。ここに厚くお礼申し上げますとともに、謹んでご芳名を掲載させていただきます(敬称略)。

【後援】

文部科学省、外務省、経済産業省、
国際連合大学、国際連合広報センター、財団法人日本国際連合協会

【協賛】

メリルリンチ日本証券株式会社、三菱商事株式会社、
三菱UFJメリルリンチPB証券株式会社

【協力】

株式会社リクルート
理想科学工業株式会社

【講師】

大隅 洋
外務省経済局経済安全保障課長

金田 晃一

武田薬品工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部シニアマネジャー

【開会式】

久野 和博
外務省総合外交政策局国連企画調整課長

星野 俊也

グローバル・クラスルーム日本委員会評議会議長/大阪大学大学院国際公共政策研究科長

【閉会式】

林 礼子
メリルリンチ日本証券投資銀行部門 資本市場本部 債券資本市場部長

第五回全日本高校模擬国連大会に参加された皆さん、お疲れ様でした。
忙しい高校生活の中、この大会への挑戦を決意した皆さんに心から感謝するとともに、その志の高さに敬意を表します。

模擬国連において、参加者たちは国際会議のシミュレーションを通じて、国際政治における議論の方法、議題となった国際問題や担当することになった国の状況など様々な事柄を学びます。

しかし、模擬国連によって得られるものは、それにとどまりません。
大会に参加した皆さんは、反対する意見を持つ相手を説得することの難しさ、いや、それにとどまらず同じ方向を向いているはずなのに合意できなかったもどかしさも経験したことでしょう。また、国際利益を考えて行動するということが普段の高校生活ではあまり機会のないことです。

日本各地の志の高い高校生たちが一堂に会し、こうした日常の高校生活では得がたい経験を、模擬国連を通じて得る場がグローバル・クラスルーム®です。100人もの高校生が議論を展開するとき、国連大学本部のエリザベス・ローズ会議場は国際政治の舞台となります。

今大会への参加が、新たな学びの、そして世界へと視野が広がるきっかけとなれば幸いです。

この大会の開催に当たっては多くの皆様にご協力をいただきました。おかげさまで、第五回大会も無事に開催することができました。厚く御礼を申し上げます。

メリルリンチ日本証券

バンク・オブ・アメリカは世界最大の金融機関の一つであり、個人、中小企業および大企業を顧客とし、銀行業務、投資業務、資産運用業務、その他の金融およびリスク管理のための商品やサービスを幅広く提供しています。バンク・オブ・アメリカは現在、バンクオブアメリカ・メリルリンチというグローバル・ブランドの下、投資銀行業務および金融市場業務を展開しています。
メリルリンチ日本証券は、バンクオブアメリカ・メリルリンチの日本における法人顧客事業の拠点として、事業会社、金融機関、政府機関など広範な法人顧客を対象に株式・債券のトレーディングを行い、資本市場業務、投資銀行業務、その他のアドバイザー・サービスを提供しています。

メリルリンチ日本証券はグローバル・クラスルームの日本における創設メンバーであり、2007年の活動開始以来、高校生の模擬国連活動を支援しています。

■ 会計報告

本大会は、メリルリンチ日本証券を始め、以下の企業助成金により賄われました。ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

| 【収入】 | |
|-----------------------|-----------|
| メリルリンチ日本証券助成金 | 1,567,000 |
| 三菱商事助成金 | 500,000 |
| 三菱UFJ メリルリンチ PB 証券助成金 | 500,000 |
| 収入合計 | 2,567,000 |
| 【支出】 | |
| 会場使用料 | 680,000 |
| 諸印刷代 | 450,000 |
| 交通費補助 | 820,000 |
| 宿泊費補助 | 567,000 |
| 当日運営費等 | 50,000 |
| 支出合計 | 2,567,000 |



理想科学工業株式会社様より貸し出し協力いただいた「ORPHIS X シリーズ」

グローバル・クラスルーム日本委員会(2011年11月現在)

(敬称略、順不同)

【アドバイザー・ボード】

明石 康

(元国連事務次長／財団法人国際文化会館理事長)

小林 いずみ

(世界銀行グループ 多数国間投資保証機関(MIGA)長官)

【評議会】

星野 俊也(議長)

(日本模擬国連創設者・OB／大阪大学 大学院公共政策研究科教授／前・国連日本政府代表部公使参事官)

紀谷 昌彦

(日本模擬国連 OB／防衛省地方協力局提供施設課長)

中満 泉

(日本模擬国連 OG／国際連合平和維持活動局政策・評価・訓練部長)

野田 司

(メリルリンチ日本証券広報部 シニアヴァイス プレジデント)

柿岡 俊一

(埼玉県立浦和第一女子高等学校 教諭)

竹林 和彦

(渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭)

米山 宏

(公文国際学園中等部・高等部 教諭)

杉村 詠史

(グローバル・クラスルーム日本委員会 理事長／青山学院大学教育人間科学部教育学科 3年)

高橋 淳志

(グローバル・クラスルーム日本委員会 理事／大学)

高橋 祥子

(グローバル・クラスルーム日本委員会 理事／慶應義塾大学法学部法律学科 3年)

山田 沙織

(グローバル・クラスルーム日本委員会 理事／慶應義塾大学法学部政治学科 2年)

馬場 潤子

(グローバル・クラスルーム日本委員会 理事／一橋大学社会学部 2年)

【理事会】

杉村 詠史 (理事長)

(青山学院大学教育人間科学部教育学科 3年)

高橋 淳志 (研究担当)

(早稲田大学政治経済学部 国際政治経済学科 3年)

大内 悠路

(慶應義塾大学経済学部経済学科 2年)

渡部 智

(東京大学教養学部文科 I 類 2年)

小檜山 歩

(2010 年度 理事長／国際基督教大学教養学部アーツサイエンス学科 4年)

元橋 一輝

(2010 年度 研究担当／東京大学法学部 第2類 4年)



■ おわりに

第五回全日本高校模擬国連大会の成功を、グローバル・クラスルーム日本委員会評議会を代表し、心からお慶び申し上げます。優秀賞を獲得した各位、各校におかれてはおめでとうございました。そして、今大会にひたむきに向き合って全力を尽くしてくれたすべての参加者の努力に大きな拍手を送りたいと思います。お疲れ様でした。

今回の議題はエネルギー安全保障という、我々の身近でも起こっている問題を国レベルで、そして世界的な問題として捉えて議論するものでした。実際の国連外交の場でもきわめて政治性が高く、未だに革新的な解決策が出されていない難しいテーマなのですが、参加した皆さんは、正面から体当たりで、自分の考えをもって熱心に取り組んでくれました。そこでは、国際政治の現実を反映した利害のぶつかり合いの再現もあれば、高校生らしい独創的で新しい発想も見受けられました。

模擬国連では、各国の大使が当事者意識を持てば持つほど、問題解決に向けたジレンマに苛まれ、問題の複雑さに頭を抱えることが大いにあります。ですが、外交とはその困難という壁を乗り越え、様々な協力の中で複雑に絡み合った糸を少しずつほぐしていく営みです。皆さんが希望を失わず、それぞれの意見を複数の決議案や修正案を出し、解決に導こうとする姿勢には、「外交官」としての意識を感じました。

米国国連協会からの厚意とメリルリンチ社の支援を受けてスタートしたグローバル・クラスルーム日本委員会の活動は、大学生の間では広く定着してきている模擬国連活動を高校生に皆さんにも紹介し、高校生の段階から国際的なセンスや国連が取り組む様々なグローバルな課題への問題意識を磨いてもらうことを期待していますが、毎回、大会に参加してくださる高校生たちの熱意や活躍には目をみはるばかりです。今後も全日本大会の実施や国際大会への日本代表団の派遣事業などを通じ、多くの高校生の皆さんに模擬国連の醍醐味を感じてもらえるよう、評議会としてもサポートをしてまいりたいと思いますので、がんばってください。

毎回の全国大会には大学生の全国組織である日本模擬国連委員会による運営があっただけで可能となるものですが、杉村理事長以下スタッフは今回も大活躍で、事業をここまで拡大してくださいました。改めて厚く御礼を申し上げます。そして、厳しい環境にあっても本事業への支援をお続けくださっている協賛・後援の諸団体には感謝の言葉もございません。私たちとしては、多くの皆様のご支援とご期待を励みとし、グローバル・クラスルーム事業の更なる発展に一層の努力をしていく所存です。どうぞ今後ともご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

グローバル・クラスルーム日本委員会
評議会 議長
星野俊也

■ 関連リンク

| | |
|--|---|
| グローバル・クラスルーム日本委員会／ | http://jmun.org/gc/ |
| Japan Committee for Global Classrooms | |
| 日本模擬国連／ | http://jmun.org/ |
| Japan Model United Nations | |
| 米国国連協会／ | http://www.unausa.org/ |
| United Nations Association of the United States of America | |
| メリルリンチ日本証券／ | http://www.japan.ml.com/ |
| Merrill Lynch Japan Securities | |
| 全国英語教育研究団体連合会／ | http://www.zen-ei-ren.com/ |
| The National Federation of the Prefectural English Teachers' Organizations | |
| 外務省 いっしょに国連 | http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/together-un/ |
| "Together for the UN" Outreach Campaign | |
| 財団法人 日本私学教育研究所 | http://www.shigaku.or.jp/index.html |

【お問い合わせ】

gc@jmun.org



グローバル・クラスルーム日本委員会
Japan Committee for Global Classrooms